

## ●中山地区 まちづくり懇談会記録

平成26年8月22日(金)午後6時30分～8時15分 (中山公民館)

質問事項	答弁要旨	答弁者
① 人口減歯止めの対策を抜本的に見直すべきだ。出生時や養育時の手当等手厚くすべきだ。	福祉の充実は、新生児から高齢者まで、全体で考えていきます。また、子育てに関する手当等で実施しているものも多くございますが、一般に周知させるのが難しいと感じております。広報活動も含めて、今後内容を検討してまいります。	町長
② 町の経済活性化、雇用の安定化をお願いしたい。企業でも例えば製造業を誘致してほしい。	現在、新たな区画整理事業地としては、三島地区や圏央道南側開発があります。安全で「定住」につながる企業を誘致するため、今後も埼玉県と共同で企業を誘致していきたいと考えています。	町長
③ 下水道区域を拡充してほしい。四つの河川に囲まれている本町は、河川の浄化が大事だ。	河川の浄化のため、現在、市街化区域内には下水道を整備し、市街化調整区域内には合併浄化槽設置を促進しています。市街化調整区域内へ下水道を整備することは、埼玉県が許可権限を持つ農業振興区域との関係もあって、難しいと考えます。町補助金もある合併浄化槽の設置や維持管理にご協力をよろしくお願いします。	町長
④ 誰も乗っていない町のバスは税金の無駄だ。予約制にして、タクシーにしたらどうか。	町バスの試行は1年間実施する予定ですが、見直しは必要と考えています。例えば、予約制のデマンド交通が良いのか、あるいは買い物支援や通院の付き添いができる「お助け隊」が良いのか等、様々な角度から検討してまいります。	町長
⑤ 町民が運動できる場所がほしい。例えばプールがほしい。医療費が高いというなら、医者に掛からない施策を検討してほしい。	生涯学習の一環として、体育指導員等と今後検討してまいります。	町長
⑥ 人口減少対策を切実に考えてほしい。子供の数が減ったことを実感している。また、バスは高坂駅につながるものがほしいという意見もある。	人口減少対策については、今後考えてまいります。町バスに関しても、今後研究してまいります。	町長
⑦ 水害対策を真剣に考えてほしい。越辺川も溢れそうにあったときもある。広島の例もある。	堤防は国が、国の基準に基づき設置しており、完成堤防と聞いています。しかし、各地区で予想を超える大雨が降っており、町としても、堤防のさらなる強化を要望しております。また、水害の場合は、少しでも高いところへ行き自分の命を守るという考えで、2階へ行くだけでも避難といえます。2階へ行けない場合は、例えば普段から隣近所とコミュニケーションをとっておき、いざというときは避難させてもらう等、まずはご自分の地区の自主防災組織と連絡をとっておく等対策をお願いいたします。	町長
⑧ 提案です。町バスを老人クラブや区長会といった団体に利用する機会を作ったらどうでしょうか。	意見のため回答なし。	

質問事項	答弁要旨	答弁者
⑨ 小学校統廃合は、子供たちのことを第一に考え、多くの人で考えてほしい。	町全体の課題として、子供たちのことを第一に考え検討してまいります。	町長
⑩ 環境センターに、焼却するため枝を持ち込む際の基準を変更してほしい。川越市のチップ化の例があるが、枝を50cm以内に切らなくとも良いようにしてほしい。	チップ化も含めて検討していきます。	町長
⑪ 川越市営のプールは、川島町民も川越市民と同様の金額で利用可能か。	4市3町でレインボー協議会と称しまして、それぞれの公共施設は在住の市町民と同様の金額で使用可能となっています。	町長
⑫ 広島の例を見て、避難勧告が遅いという話がある。本町の現状は。	避難勧告を出すタイミングは非常に難しいものと考えております。実際の避難を考えますと、夜間では周囲が暗く、二次災害の恐れが大きいですと考えます。明るくなって周囲が見えるようになってから勧告を出すのが妥当と考えます。例えば、昨年5月の大雨の際、川越市は南古谷に避難勧告を出しましたが、夜間は二次災害の危険が大きいですという判断で、明るくなってから勧告を出しました。勧告ですので、実際の避難は自分の判断になりますが、その際は2、3人が避難したと聞いております。また、風雨の強い台風の通過中も避難はできないと考えます。足元が見えるとき、周囲が見える時に避難勧告は出したいと考えています。	町長
⑬ 町から示された防災訓練に係る安否確認の3つの例があるが、もっと具体的な方法を考えてください。地区では、昨年と一昨年とでやり方が違う等区長も苦労している。	防災訓練に係る安否確認訓練は今年で3年目になります。例えばタオルをドアノブに巻いて避難の目印にする等、先進的な事例も参考にして訓練を重ねて、実際に使いやすい安否確認の方法を考えてまいります。	総務課長
⑭ 大洪水対策として、産業団地のプロロジスと防災協定を結んでほしい。より安全で安心できる避難所の確保として、町長が先頭に立ってやってほしい。	今までも協力をお願いしてきており、緊急避難のみ内部へ立ち入ることができるようになっておりますが、プロロジス自体は貸倉庫業ということで、借りている他の業者との関係もございますので、それらの業者とも良く話し合っております。	町長
⑮ 環境のため、河川の浄化と再生必要。水路の法面整備、親水空間の整備等水の豊かなインフラ整備をお願いしたい。	河川も土地も明治や大正時代から整備が進められてきました。今後も引き続き行ってまいりますので、皆様方のご協力をお願いいたします。また、昨年からは、長楽用水路において、埼玉県から補助金をいただき「川の再生事業」を始めました。今後は埼玉県が全般的に整備していただけるとのことですので、こちらもご協力をお願いいたします。	町長
⑯ 町から民生委員へ、見守るべき人の住民情報が来ない。住み続けたい町とするため、民生委員活動を円滑にするため、町からそういった情報が欲しい。	町は、「防災カード」により登録いただいた要援護者台帳の情報を、民生委員・児童委員と共有化しております。さらに、町情報公開個人情報審議会にも諮り、区長や民生委員だけでなく班長にもその情報を共有化しております。今後、健康福祉課長と連携して、さらなる情報の共有化を検討してまいります。	総務課長